

大豆在来種「行田在来」の特性と栽培法

特色ある豆腐を開発するため、農林総合研究センターが保存している大豆の在来種28種の性質を調査し、豆腐業者・大豆生産者と連携して豆腐に適した品種「行田在来」を選定しました。

「行田在来」の品種特性と栽培法は以下のとおりです。

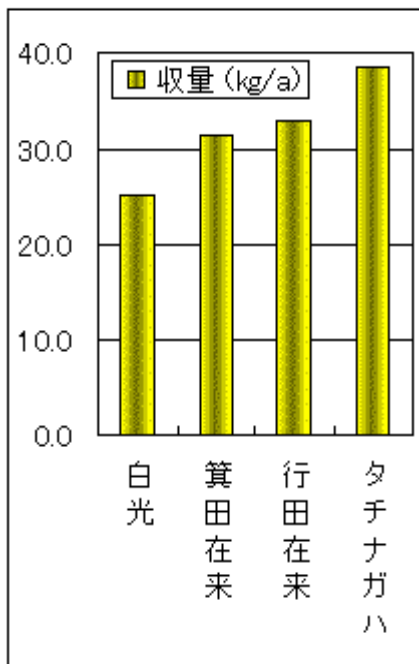
- ①豆腐、豆乳の味が優れています。
- ②種皮は薄緑色で、収量は在来種の中では多収ですが、倒れやすく、「タチナガハ」には劣ります。
- ③播種の適期は7月上中旬。うね間70cm・株間15cmから30cmとします。



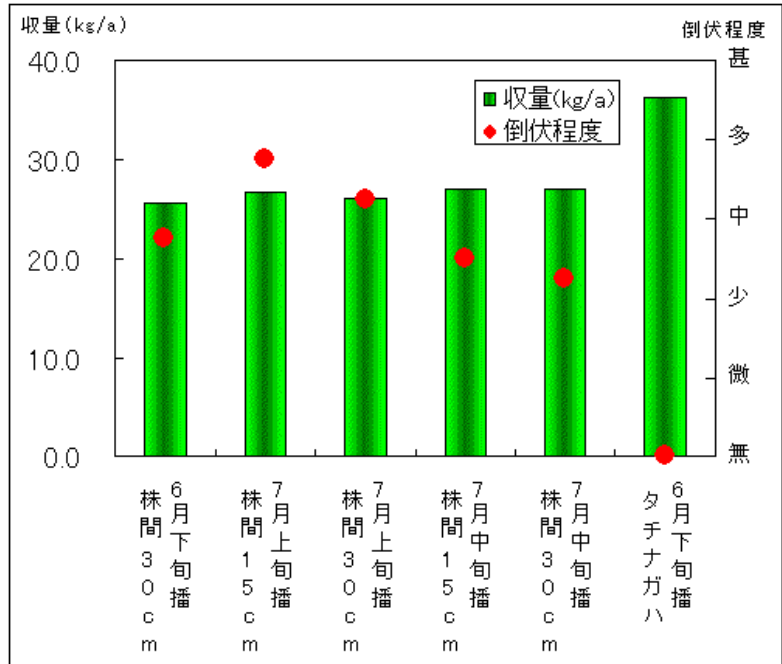
在来種の品種特性評価の状況



「行田在来」の花及び粒（種皮色）



在来種の収量比較
(タチナガハは改良種)



「行田在来」の栽植密度と播種時期の違いによる収量及び倒伏程度